

# 福島経済マンスリー

## 10月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

### 1. 2017年10月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店が2カ月連続、スーパーが2カ月ぶりにそれぞれ前年を下回り、合計でも2カ月連続で前年比マイナスとなった。一方、乗用車新車登録台数は軽乗用車の伸びにより12カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2カ月ぶり、請負金額が4カ月連続、保証金額が8カ月連続と、いずれも前年を下回った。公共投資は復旧・復興の進捗により減少基調で推移しているものの、震災前を上回る水準を維持している。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が5カ月ぶりに前年を上回ったものの、床面積が2カ月ぶり、工事費予定額が4カ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家と分譲が2カ月連続で前年を上回ったものの、貸家が10カ月連続で前年を下回り、全体でも10カ月連続で前年比減となった。しかし、既に震災前の年間実績を上回り、年間14,000戸を超えるペースで推移している。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）横ばいとなった。業種別の前月比をみると、8業種で上昇し10業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比+0.03ポイント、原数値が前年同月比+0.05ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実数は前年同月比+5.3%と6カ月連続で前年を上回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は9月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

← 良
い
悪
→

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 1.8	△ 0.5	0.7	0.2	△ 0.9	△ 1.5
	乗用車新車登録台数	12.3	15.8	2.9	6.5	5.1	2.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 22.0	0.6	△ 4.0	△ 68.8	△ 45.4	△ 22.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 60.3	△ 29.1	53.6	36.2	77.2	△ 50.7
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 33.5	△ 32.4	△ 26.4	△ 24.7	△ 2.7	△ 10.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.5	△ 1.8	1.2	1.0	0.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.00	0.00	0.01	0.05	0.06	0.05
	雇用保険受給者実人員	9.2	4.7	5.0	4.5	1.4	5.3

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	3.7	△ 4.7	6.9	0.4	△ 11.8	8.0
	乗用車新車登録台数	2.0	28.3	△ 16.5	△ 15.8	38.7	△ 16.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	38.2	34.3	△ 48.3	△ 31.7	34.7	14.6
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 70.5	10.4	46.8	△ 23.4	96.2	△ 10.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 27.1	△ 6.7	23.9	4.4	9.3	10.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 3.7	△ 2.6	1.8	0.5	0.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.01	0.00	△ 0.01	0.03
	雇用保険受給者実人員	24.5	0.7	△ 1.1	5.2	△ 8.8	△ 1.7

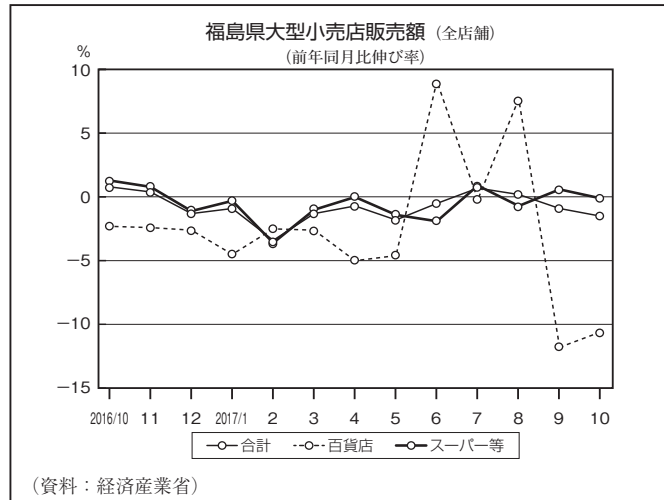
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

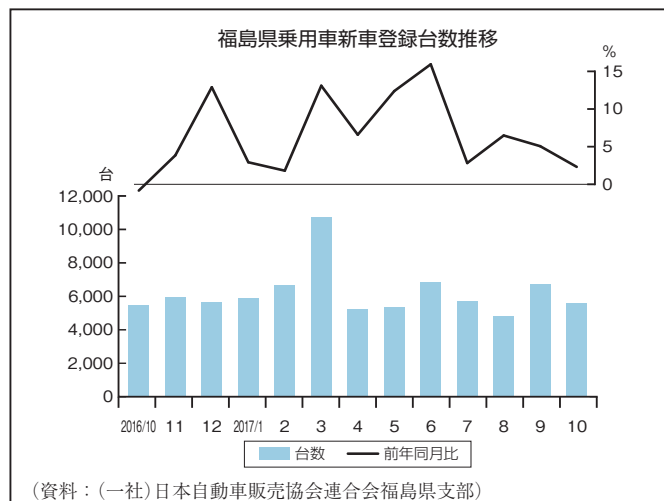
##### 大型小売店：2カ月連続で前年比減

10月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で204億26百万円（前年同月比△1.5%）と2カ月連続で前年を下回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△10.6%となった。一方、スーパーは、飲食料品などが前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回ったことから、合計では同△0.1%となった。



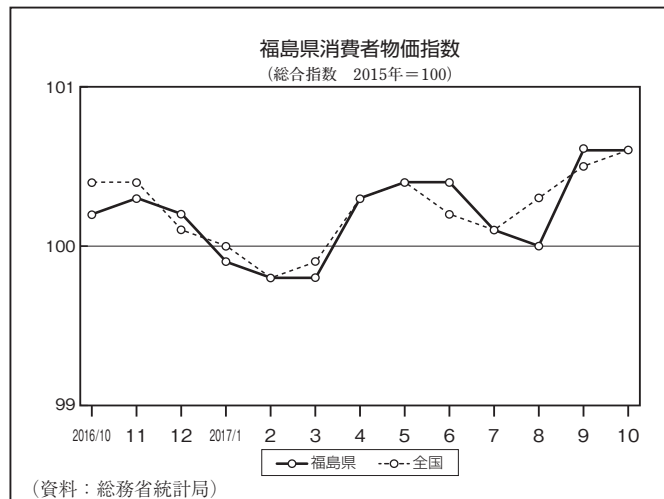
##### 乗用車販売：12カ月連続で前年比増

10月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,578台（前年同月比+24%）となり、12カ月連続で前年を上回った。車種別でみると、普通車が1,738台（同△5.9%）と5カ月連続、小型車が1,603台（同△5.5%）と12カ月ぶりにそれぞれ前年を下回ったものの、軽乗用車が2,237台（同+17.6%）と8カ月連続で前年を上回った。



##### 消費者物価指数：前年比は上昇・前月比は低下

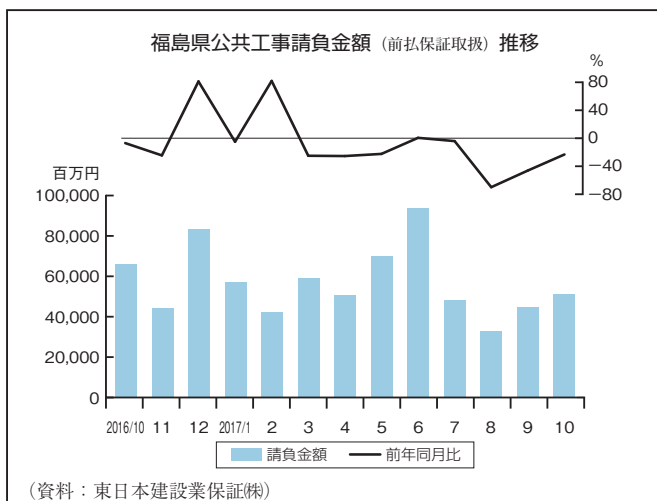
10月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.6で前年同月比+0.4%、前月比△0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「交通・通信」の98.3（同+0.6%）など5費目で上昇し、下降したのは「教養娯楽」の100.7（同△0.7%）など4費目となった。



### 公共投資

#### 公共工事：請負金額は4カ月連続で前年比減

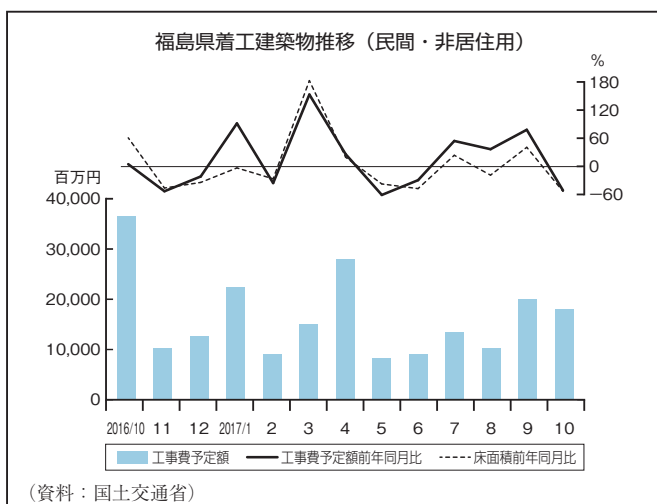
10月の公共工事前払保証取扱は、件数が760件（前年同月比△6.6%）で2カ月ぶり、請負金額が513億91百万円（同△22.8%）で4カ月連続、保証金額が282億45百万円（同△10.6%）で8カ月連続と、いずれも前年を下回った。



### 設備投資

#### 設備投資：工事費予定額が4カ月ぶりに前年比減

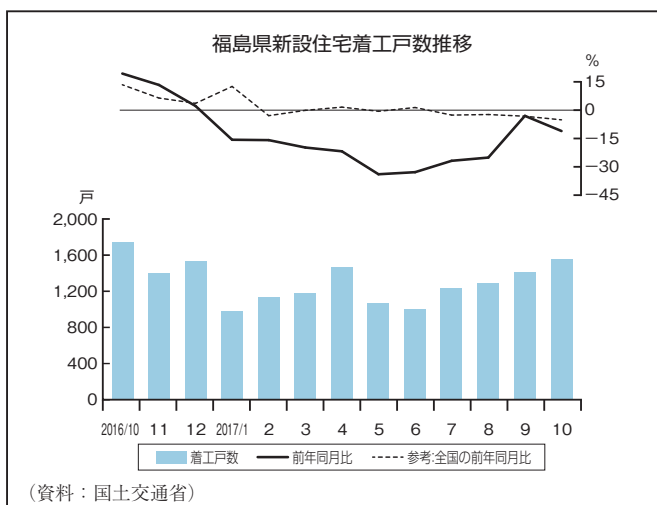
10月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が185棟（前年同月比+10.1%）と5カ月ぶりに前年を上回ったものの、床面積が82,465㎡（同△52.7%）で2カ月ぶり、工事費予定額が180億16百万円（同△50.7%）で4カ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。



### 住宅投資

#### 住宅建設：着工戸数は10カ月連続で前年比減

10月の県内新設住宅着工戸数は、1,553戸（前年同月比△10.7%）と10カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は554戸（同+0.2%）、「分譲」は223戸（同+114.4%）でともに2カ月連続で前年を上回ったものの、「貸家」は776戸（同△27.6%）と10カ月連続で前年を下回った。

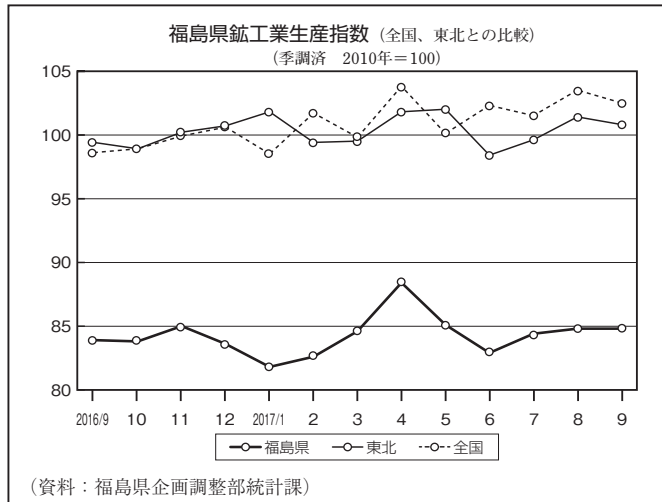


生産活動

※鉱工業生産指数は9月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに横ばい

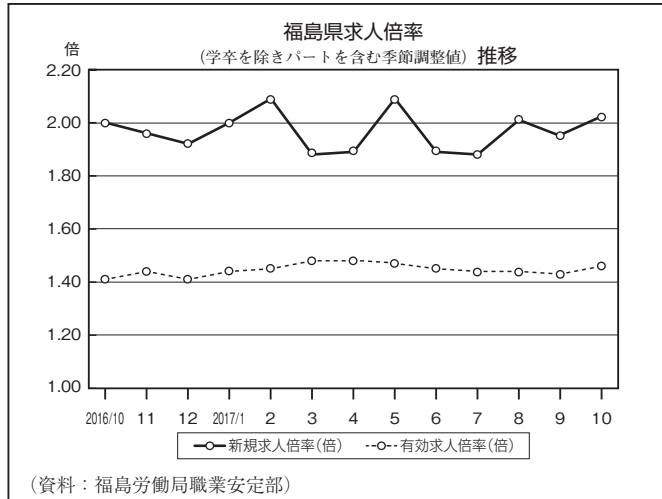
9月の鉱工業生産指数（季節調整値）は84.8で前月比±0.0%と横ばいとなった。一方、原指数は85.7で前年比±0.0%とこちらも横ばいとなった。業種別の季節調整値をみると、「電気機械工業」（前月比+7.9%）など8業種で上昇し、「印刷業」（同△12.5%）など11業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月上昇

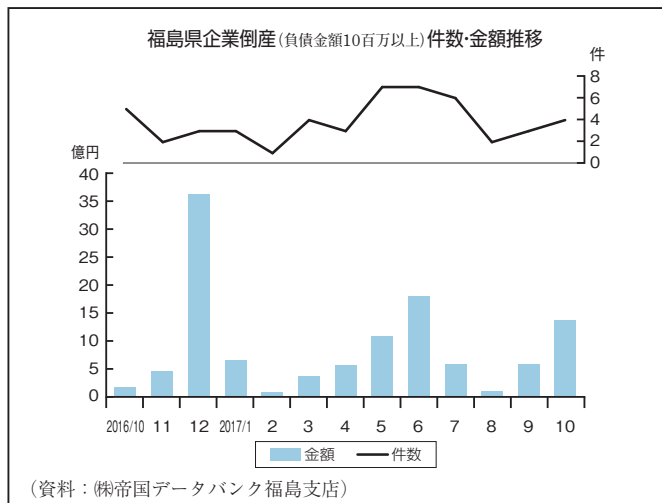
10月の新規求人倍率は、季節調整値が2.02倍（前月比+0.07ポイント）、原数値が2.24倍（前年同月比△0.01ポイント）となった。また、10月の有効求人倍率は、季節調整値が1.46倍（前月比+0.03ポイント）、原数値が1.53倍（前年同月比+0.05ポイント）となった。一方、10月の雇用保険受給者実人員は6,476人（前年同月比+5.3%）と6カ月連続で前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：件数は前年比減・金額は大幅増

10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が4件（前年同月比△20.0%）、負債総額が13億69百万円（同+686.8%）と、負債総額は前年を大きく上回った。業種別では、卸売業2件、建設関連1件などとなった。

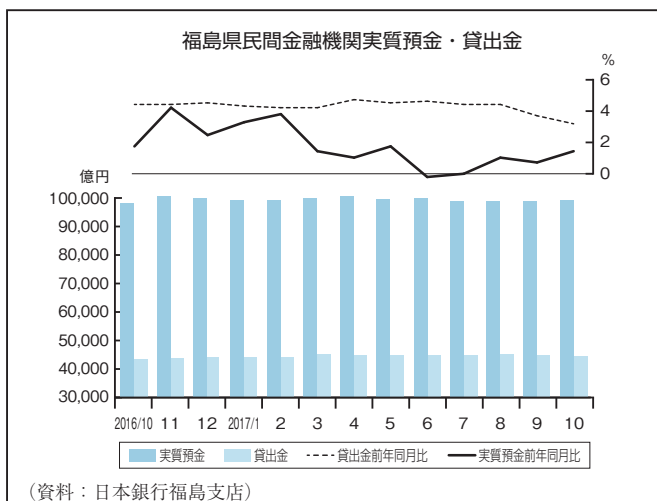


金融動向

資金需給：実質預金・貸出ともに前年比増

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の10月末の実質預金残高は、9兆9,549億円（前年同月比+1.4%）と3カ月連続で前年を上回った。一方、貸出金残高は、4兆4,736億円（同+3.1%）と4年5カ月連続で前年を上回った。

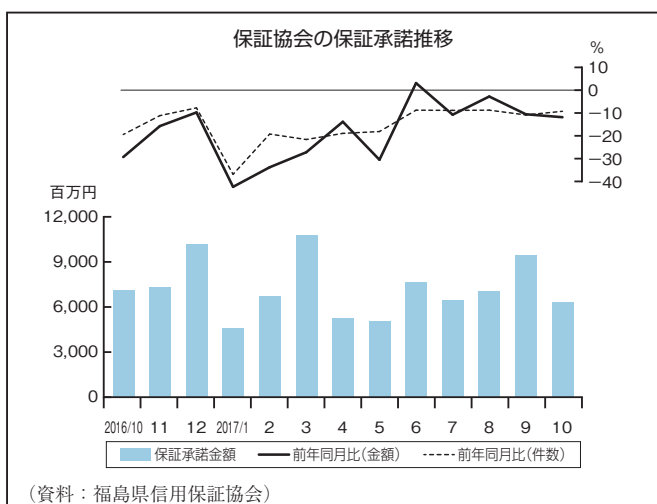
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比減

10月の保証承諾は、件数が557件（前年同月比△9.3%）、保証金額が62億71百万円（同△11.9%）となった。また、10月末日現在の保証債務残高は、件数34,872件（同△10.1%）、金額2,954億26百万円（同△12.1%）となった。

一方、10月中の代位弁済は、件数が20件（同△63.6%）、金額が55百万円（同△89.5%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電量販店** 10月の家電量販店の売上高は、テレビが前年比横ばいとなったが、暖房器具などの生活家電やパソコンなどの販売が伸びず、合計では前年を5%ほど下回った。

**ホームセンター** 10月のホームセンターの売上高は、家電製品や作業資材などが前年を上回ったものの、日用品や園芸・農業資材などが前年を下回り、合計でも前年をやや下回った。

**旅行** 10月の旅行取扱額は、個人旅行が国内・海外ともに前年比ほぼ横ばいとなったのに対し、団体旅行が国内・海外ともに50%以上減少し、全体でも前年を50%近く下回った。大型台風の上陸や海外の政情不安などが影響したものと思われる。

**高速道路** 10月の県内自動車道出入台数は、合計で5,445,251台（前年同月比△4.8%）と、2カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,703,081台（同△4.4%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）が1,676,747台（同△6.3%）でともに2カ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）

が663,076台（同△4.3%）で6カ月ぶり、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が402,347台（同△2.8%）で8カ月ぶり、いずれも前年を下回った。

**福島空港** 10月の福島空港国内定期路線の利用状況は、23,295人（前年同月比△6.4%）で6カ月ぶりに前年を下回った。路線別にみると、札幌便は6,128人（同△11.0%）、大阪便は17,167人（同△4.6%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

**生産活動**

※企業ヒアリング等による結果

**化学** 10月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が引き続き安定し、前年をやや上回る生産水準となっている。

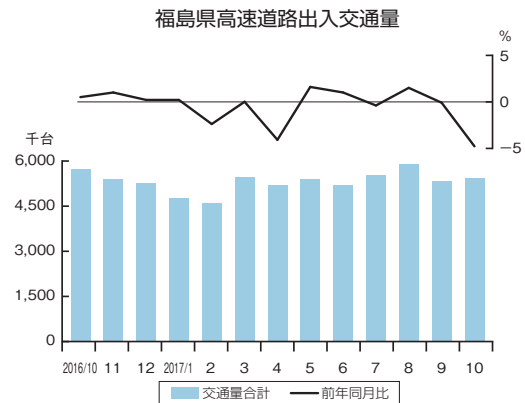
**鉄鋼・金属** 10月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材が前年を8%ほど下回ったものの、自動車向け端子材が前年をやや上回るなど、好調な受注を維持している。10月の建機用鋳造品は、一時的な需要の低下があり、合計で前年を30%ほど下回った。10月の鋳鋼品の生産は、車輻関連が前年をやや上回ったものの、船用部品が前年を10%ほど下回り、合計では前年をやや下回った。

**輸送用機械** 10月の自動車用鋳造品は、トラック用で受注が好調に推移し、前年を30%近く上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

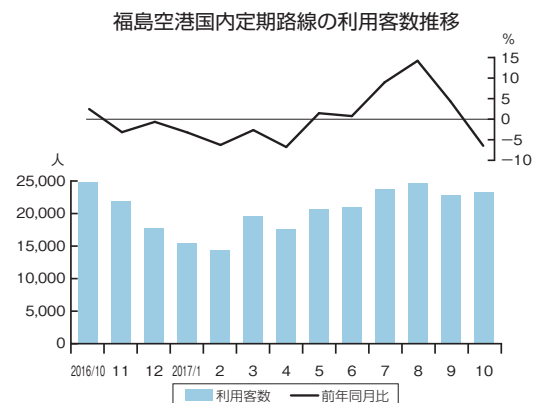
**電気機械** 10月の電気機械の生産は、変圧器やモータ、配電盤などが前年を下回り、合計では前年を20%近く下回る生産水準となった。

**情報通信機械** 10月の情報処理装置は、前年並みの受注を維持しており、合計では前年をやや上回る生産となった。

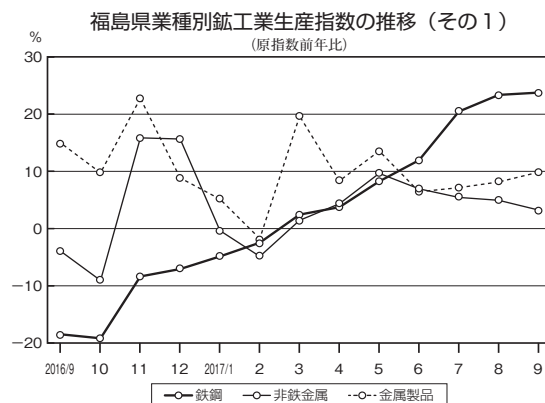
**電子部品・デバイス** 10月のLSI（大規模集積回



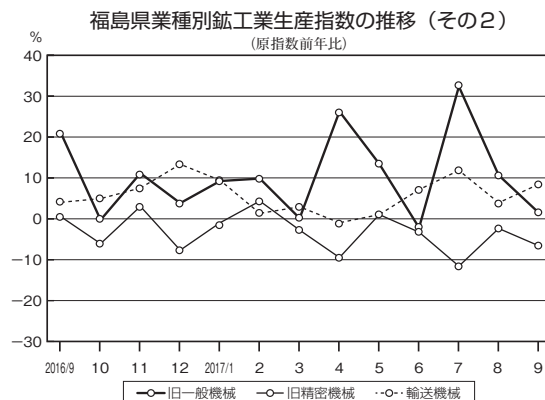
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

路)の生産は、需要が低下傾向で推移し、前年を40%ほど下回った。

**精密機械** 10月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を10%程度上回る生産水準となっている。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、クリスマス商戦向けなど国内外で需要が増加しており、引き続きフル稼働の生産が続いている。

**窯業・土石** 10月の生コンクリート出荷量は、全体で160,722m<sup>3</sup>（前年同月比△8.0%）と2カ月ぶりに前年を下回った。地区別、民需・官公需別にみると、民需では前年を上回ったのは県北地区のみで、全体では前年同月比△15.8%となった。また、官公需では砂防施設や庁舎、体育館などの建設が進む会津・相双・県北地区では前年を上回ったものの、全体では同△1.6%となった。

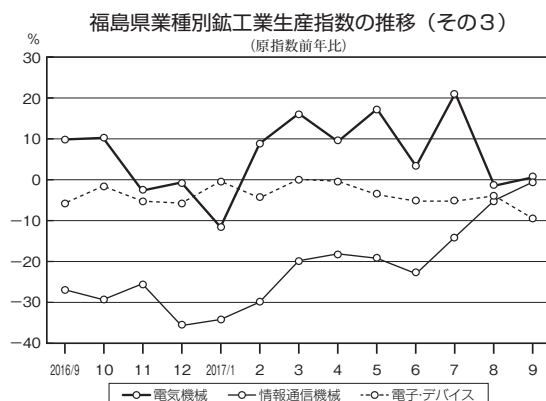
**紙・紙加工品** 10月の製紙の生産は、前年より工場の稼働日数が少なかったこともあり、前年比約70%減となった。感熱紙の受注は前年並みを維持しているものの、ノーカーボン紙は前年比減少傾向が続いている。

**清酒** 10月の清酒移出数量は、1,082kL（前年同月比+1.4%）と2カ月ぶりに前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が525kL（同△3.3%）と5カ月連続で前年を下回ったものの、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が558kL（同+6.2%）と3カ月連続で前年を上回った。

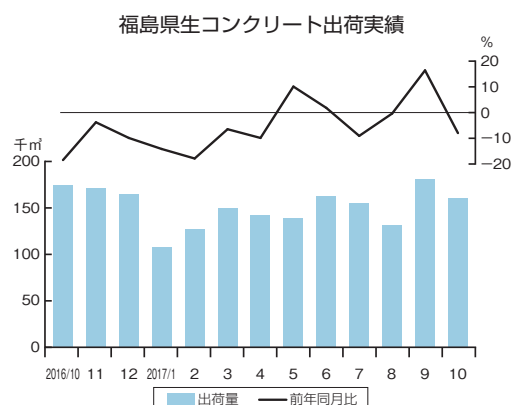
**化合繊維物** 10月の化合繊維物は、生産額が前年を10%ほど上回り、受注は好調に推移している。

**ニット** 10月のニットは、冬物製品の受注が増加しており、生産額でも前年をやや上回った。

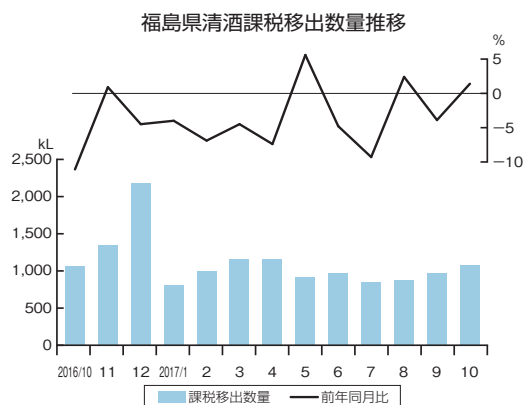
**電灯電力** 10月の電灯電力販売量は、1,001百万kWh（前年同月比△5.8%）となり、6カ月連続で前年を下回った。



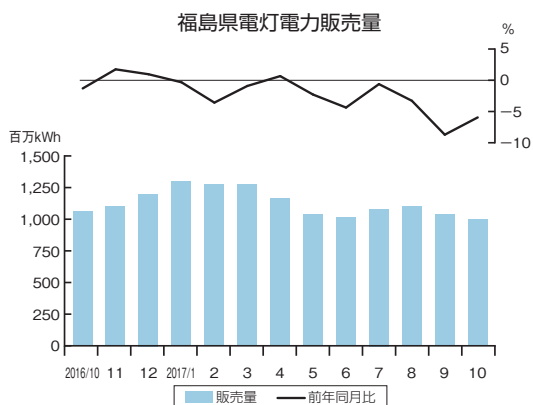
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力(株)福島支店)